

日本高血圧学会ダイバーシティ推進旭川宣言 - J S H旭川宣言-

日本高血圧学会は一貫して世代・性別を超えた多領域の医師と医療者との連携を行ってきました。若手や女性の研究者・医療者を学会の座長やシンポジストに登用し、その育成に力を入れるとともに生涯教育も積極的に推進してきました。また欧米やアジア諸国との連携を図り、学会のグローバル化に取り組んでいます。

この成果を更に発展させるべく、人々が対等に関わり社会貢献を目指すことは、日本高血圧学会の未来に向けた使命です。日本高血圧学会は、世代、性別、国籍、信条、身体的・精神的個性、性的指向などの差異を超えて会員全員がその能力を存分に発揮でき、お互いの尊厳を守り価値観が尊重される高血圧診療システムの構築を目指します。また、職種を超えた医療者と国民が一体となった啓発活動や、医療者と患者間の意思疎通においてダイバーシティの精神に則った共感の姿勢で分かりやすい高血圧診療を推進することは、日本高血圧学会が果たすべき真の社会貢献です。

日本高血圧学会は、旭川で開催される第41回日本高血圧学会総会において「日本高血圧学会ダイバーシティ推進旭川宣言 - J S H旭川宣言-」を發表し、日本高血圧学会みらい医療計画と連動して、5本の柱からなる計画の実行を誓います。

日本高血圧学会（J S H）は

1. 全ての患者・医療者の差異を認め、多様性を尊重するダイバーシティの精神を啓発・推進します。
2. 全ての会員が多彩な個性と能力を活かしてライフワークバランスを実現できる教育・研究・診療環境をサポートします。
3. 患者の多様性を尊重し、分かりやすい高血圧診療とその啓発活動を推進します。
4. 合理的配慮を必要とする会員の支援体制を整備します。
5. ダイバーシティの視点に立った人材育成を推進します。